

■除草剤：農業用

# セカンドショット®SジャンボMX

登録番号：23867  
 毒性：－  
 消防法：－  
 有効年限：3年

成分 アジムスルフロン……0.36%  
 ベノキスラム……0.36%  
 メソトリオン……2.0%

物理的・化学的性状 淡褐色細粒 水溶性パック入り、1パック25g

包装：(25g×20)×10

## ◆特長

- 3成分配合によりノビエ、ホタルイからミズアオイ、オモダカまで幅広い雑草に効果を示します。
- SU抵抗性雑草（ミズアオイ、ホタルイ等）に対しても効果を示します。
- 拡散スピードが速いので、稲が生長していても従来のジャンボ剤より拡散性が優れます。
- 中期省力除草を実現した、湛水状態で使用できる中期専用のジャンボ剤です。

## ◆適用と使用方法

| 作物名  | 適用雑草名                                                                                           | 使用時期                                    | 使用量                                   | 本剤の使用回数 | 使用方法                                 | アジムスルフロンを含む農薬の総使用回数 | ベノキスラムを含む農薬の総使用回数 | メソトリオンを含む農薬の総使用回数 |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|---------|--------------------------------------|---------------------|-------------------|-------------------|
| 移植水稻 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ<br>ホタルイ<br>ヘラオモダカ<br>ミズガヤツリ<br>ウリカワ<br>クログワイ<br>オモダカ<br>ヒルムシロ<br>セリ<br>コウキヤガラ | 移植後14日～<br>ノビエ3.5葉期<br>ただし、<br>収穫45日前まで | 小包装<br>(パック)<br>20個<br>(500g)<br>/10a | 1回      | 水田に<br>小包装<br>(パック)<br>のまま<br>投げ入れる。 | 1回                  | 2回<br>以内          | 2回<br>以内          |
| 直播水稻 | 水田一年生雑草及び<br>マツバイ<br>ホタルイ<br>ミズガヤツリ<br>ウリカワ<br>ヒルムシロ<br>セリ                                      | 稲4葉期～<br>ノビエ4葉期<br>ただし、<br>収穫45日前まで     |                                       |         |                                      |                     |                   |                   |

ラベルをよく読み、ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

## ◆注意事項

- (1) 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきることを。
- (2) 多年生雑草は生育段階によって効果にフレグが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ（移植水稻）は草丈10cmまで、ホタルイ（直播水稻）、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ（直播水稻）、ウリカワ（直播水稻）は3葉期まで、ウリカワ（移植水稻）は4葉期まで、ミズガヤツリ（移植水稻）は草丈15cmまで、クログワイは草丈20cmまで、オモダカは矢じり葉3葉期まで、ヒルムシロ（移植水稻）は発生盛期まで、ヒルムシロ（直播水稻）は発生期まで、セリは再生期まで、コウキヤガラは草丈20cmまでが本剤の散布適期である。
- (3) クログワイ、オモダカは必要に応じて有効な前処理剤と組み合わせて使用すること。また、クログワイ、オモダカに有効な前処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上する。
- (4) 苗の植付けが均一となるように代かきをていねいに行うこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行うこと。
- (5) 処理に当たっては、水の出入りを止めて水深5～6cmの湛水状態にし、散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。自然減水により田面の一部が露出するようになったら、水尻を止めて通常の水深になるまで水を入れて水口を閉じること。また、止水期間中の入水は静かに行うこと。
- (6) 前処理剤との体系で使用し、雑草の発生状況をよく確認し、時期を失しないように散布すること。
- (7) 本剤は小包装（パック）のまま10アール当り20個の割合で水田に均等に投げ入れること。
- (8) 補植は必ず散布前に行うこと。
- (9) 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり、部分的な薬害や効果不足を生じる可能性があるため使用をさけること。
- (10) パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することのないように注意すること。
- (11) 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
  - ① 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
  - ② 軟弱な苗を移植した水田
  - ③ 極端な浅植の水田及び浮き苗の多い水田
  - ④ 稲の根が露出している水田
  - ⑤ 処理後著しい高温が続く場合
- (12) 本剤はその殺草特性からいぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- (13) 散布田の水田水を他の作物に灌水しないこと。
- (14) 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、水管理を適正に行うこと。
- (15) 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ◆安全使用上の注意

- (1)本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常の使用方法ではその該当がない。ただし、濡れた手で触らないこと。
- (2)水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意すること。
  - ①眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
  - ②皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。

### ◆魚毒性

この登録に係る使用方法では該当がない。